

「薬用作物の産地化に向けた説明会および相談会」がスタート

2024年7月26日(金)、「薬用作物の産地化に向けた説明会および相談会」がアスティ45(札幌市中央区)にてハイブリッド開催された。

本イベントは、原料生薬の国内生産拡大に向け、産地化希望者と実需者とのマッチングを目的に、薬用作物産地支援協議会(薬産協)が毎年開催している。



【会場となったアスティ45】

今年度は、7~11月の期間で、主に生産者を対象とした説明会および相談会を3回、また行政を対象とした行政担当者情報交換会を1回開催する予定である。今回はその皮切りとして、実際にカノコソウやシャクヤクの産地化に取り組んでいる生産者等からの事例発表や栽培におけるポイントや栽培の実態に関する解説および有益な情報交換の機会であるディスカッションを実施した。また、生薬の生産に関心のある方を対象とした専門家による個別相談も行った。

この日は、会場で4名、オンラインで25名(内、関係者3名)の計29名の方々に参加いただいた。

まず、「第1部 薬用作物に係る説明会」が開催され日漢協、行政、製薬企業、研究機関、栽培農家の方々に会場またはリモートにてご講演いただいた。演題および講師は次の通りである。なお、司会を滝山 亮氏(小林製薬 製造本部 開発・調達統括部 購買部 天然原料調達グループ長)が務められた。



滝山 亮氏



【会場の様子】

➤ 「カノコソウ・シャクヤクの国内生産拡大に向けた取組み」

生薬国内生産検討班 班長 小柳 裕和 氏

➤ 「薬用作物を対象とした補助事業等について」

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ
生産専門官 梶 恵美 先生 (リモート)

➤ 「カノコソウ栽培・生産 産地化に向けたポイント」

小林製薬株式会社 製造本部 開発・調達
統括部購買部 天然原料調達グループ
担当課長 吉井 淳 先生 (リモート)

➤ 「カノコソウ栽培の実態」

有限会社 東野農園 東野 克樹 先生 (リモート)

➤ 「シャクヤクの栽培について」

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
薬用植物資源研究センター 元 客員研究員
柴田 敏郎 先生

➤ 「日本国内産シャクヤクについて」

地域特産物マイスター 福田商店 福田 浩三 先生



小柳 裕和氏



梶 恵美先生
(リモート)



吉井 淳先生
(リモート)



東野 克樹先生
(リモート)



柴田 敏郎先生



福田 浩三先生



【ディスカッションの様子】

講演のセッション終了後、質疑応答を兼ねたディスカッションが行われ、短時間ではあったが、活発な情報交換が交わされた。

その後、「第2部 個別相談会」が開かれ、薬用作物の生産に関する相談に対して、薬産協等のスタッフが熱心に対応していた。

次回は、9月10日(火)、会場をAP八重洲に移し、ハイブリッド開催される。



【相談会の様子】